

「県民協働による事業改善」点検結果と対応状況

[予算要求時点]

事業番号	C-2	事業名	多様な働き方普及促進事業	担当部課名	産業労働部 労働雇用課
------	-----	-----	--------------	-------	----------------

1 点検結果集計

(単位:人)

	事業改善の必要あり							現行どおり	移管・廃止
	改善の方向性	改善項目(複数回答)					その他		
		姿・目標	事業内容	広報手法	連携				
点検者	強化・拡大	6	3	6	6	4	1	1	0
	現状維持	4	2	2	3				
	合理化・縮小	1		1			1		
	合計	11	5	9	9	4	2		

2 県民意見と対応状況

県民意見	県としての考え方・対応方針
【目指す姿・成果目標】 ・アドバンス認証企業数や子育て応援宣言登録事業所数の目標達成だけでなく実際にどれだけ労働者に反映されているかが重要ではないか。	・アドバンス認証企業数等だけではなく、多様な働き方制度等を利用し、就業継続・雇用の安定に結びついた労働者数も目標として設定しております。 【設定目標】 多様な働き方制度等利用者数 1,000人(平成30年度末)
【事業内容】 ・グッドプラクティスを紹介するような啓発活動が必要 ・働き方改革に伴う企業サイドの負担を軽減するような施策・対応が必要ではないか。 ・多様な働き方制度導入を促進する意味でも、アドバンス認証要件をもっと柔軟にしたほうがよいのではないか。 ・長野県らしい地域の好事例を発信するため、「一人多役」型ライフスタイルのモデル地域を増やしてはどうか。	・働き方改革先進企業へ訪問、事例を研究しその取組みを自社へ取り入れる研究会の開催を検討します。 ・企業の働き方改革を支援する専門家チームを派遣し、労務管理・法制面の助言や仕事の見直し等のコンサルティングを実施します。 ・働き方改革関連法案など法改正に対応した認証要件の見直しを行います。 ・首都圏の移住希望者等を対象に「一人多役」型の働き方・暮らし方のモデルケースを積極的に発信してまいります。
【広報・PR手法】 ・金融緩和で金利の優遇がどれほどのインセンティブになるのか。もう少し他のインセンティブをそろえてアピールするほうがよいのでは。 ・イクボス温かボス宣言の取組みと連携してはどうか。	・金利優遇以外の入札における加点、合同企業説明会への優先参加、県施策の補助金上限額UPといったインセンティブも併せてPRします。 ・人権男女共同参画課と連携して、イクボス・温かボスや一般事業主行動計画の策定を働きかけます。
【課題】 ・アドバイザーの相談・助言により、正社員転換制度の導入促進を重点的に行ってはどうか。 ・テレワークが県内企業の労働者の実態・ニーズに即しているか再度検討して欲しい。	・正社員が育児・介護によってフルタイムで働けないときの短時間正社員制度等も重要であるため、アドバイザーの企業訪問により、正社員転換制度も含めた多様な働き方の導入を働きかけます。 ・テレワークの導入促進にあたり、セミナー形式ではなく、導入を希望する企業に対して個別の支援を行ってまいります。

3 平成30年度当初予算要求での対応

アドバイザーの企業訪問による多様な働き方の普及に引き続き取り組むとともに、働き方改革先進企業の事例研究やモデル企業の長時間労働の是正支援など、より踏み込んだ働き方改革の支援を通じて、県内企業の働き方改革における好事例を全県へ普及してまいります。

【事業費の主な増減】

	H30当初要求額	H29当初予算額	増減	
事業費	36,970	40,532	Δ 3,562	・働き方改革モデル企業支援等の増(2,756千円) ・働き方改革先進企業の事例研究会の増(394千円) ・「一人多役」型ライフスタイルの発信、合同企業説明会の開催等の増(755千円) ・職場環境改善アドバイザーの減(10名→8名) (Δ6,007千円)